

社会科（歴史的分野）学習指導案

指導教諭
授業者

1. 日時 平成30年6月20日（水）第5限（45分）
2. 学級 第2学年3組（男子18名、女子19名 計37名）
3. 場所 第2学年3組教室
4. 教科書 『新編 新しい社会 歴史』（東京書籍）
5. 単元名 第4章2節「江戸時代の成立と鎖国」

6. 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領第2章第2節歴史的分野の内容（4）「近世の日本」のイ「江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係などを通して、江戸幕府の政治の特色を考えさせ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる」を受けて設定されたものである。よって①江戸幕府の成立と大名統制、②鎖国政策、③身分制度の確立及び農村の様子、④鎖国下の対外関係、これらの学習を通して江戸幕府による支配の特徴を考えさせ、長期にわたって安定した時代の仕組みを理解させることが大きなねらいである。

(2) 単元の目標

江戸幕府による諸政策の意義を理解することを通して、江戸幕府が長期にわたって安定した時代を築くことができた理由を説明することができる。

(3) 単元の評価基準

(ア) 社会的事象への関心・意欲・態度	(イ) 社会的な思考・判断・表現	(ウ) 資料活用の技能	(エ) 社会的事象についての知識・理解
江戸幕府の政治、身分によって異なる人々の暮らし、鎖国下の対外関係に対する関心を高め、意欲的に追究している。	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立および農村の様子、鎖国下の対外関係から課題を見だし、江戸幕府の政治の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立に関する史料、年表などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立および農村の様子、鎖国下の対外関係を理解し、その知識を身につけている。

(4) 単元の指導計画 (総時数 4 時間)

第 4 章 近世の日本

2 節 江戸時代の成立と鎖国

- 1.江戸幕府の成立と支配の仕組み・・・1 時間 (本時)
- 2.さまざまな身分と暮らし・・・1 時間
- 3.貿易の振興から鎖国へ・・・1 時間
- 4.鎖国下の対外政策・・・1 時間

7. 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒は、チャイムが鳴るまでに授業準備を済ませて着席し、黙想を行うことで落ち着いて授業を受けることができる。しかし、発問に対して積極的に発言を行う生徒がいる一方で、多くの生徒は発言に控えめである。そこで、発言する生徒が偏らないよう発問の仕方や生徒の当て方を工夫し、多くの生徒に発言する機会を与えたいと考える。

(2) 指導観

社会科の学習では「暗記すればよい」という意識が先行してしまい、社会的事象の用語は理解できても他の事象との関係や背景・要因の理解が不十分であることが多い。そこで、社会的事象と社会的事象のつながりや地理的分野・公民的分野とのつながりを意識させることが重要であると考えている。また、ワークシートの空欄補充やグループワークを通して、生徒の主体的な学習を促したい。

8. 本時の学習計画

(1) 主題名 江戸幕府の成立と支配の仕組み

(2) 学習目標 江戸幕府の支配の仕組みを知り、江戸幕府が長く続いた理由を理解する

(3) 授業展開

過程	学習内容 ○：発問 ◎：主な発問	学習活動・ 予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	(1) 挨拶 (2) 前時までの復習 ○織田信長・豊臣秀吉の次に出てくるのはだれか？ ○徳川家康は何をした人？ ○幕府は江戸幕府しかなかった？ (3) 本時の導入 鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府の長さ比べをする	・挨拶 →「徳川家康」 →「江戸幕府を開いた」 →「鎌倉幕府、室町幕府」 ・江戸幕府が最も長く続いたことに気付く	・前時までに織田信長・豊臣秀吉を学習したことを確認 ・リボンを使用して鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府、それぞれの長さを表す

<p>展開</p>	<p>☆江戸幕府はなぜ 260 年間も続いたのだろうか</p>	
	<p>(1) プリント①を使って、徳川家康及び江戸幕府の成立について学習する</p> <p>(2) プリント②・③を使って、「江戸幕府がなぜ 260 年間も続いたのか」を 3 つの側面から考える</p> <p>①幕府の軍事力（戦う力） ※旗本・御家人、幕府の仕組み</p> <p>②幕府の経済力（お金の力） ※重要都市・鉱山の直接支配、貨幣の鑄造権を独占</p> <p>③幕府の政治力（治める力） ※幕藩体制、大名配置、朝廷への支配</p> <p>【グループワーク①】 教科書 P113 の 5. 主な大名の配置を見て ◎大名配置の特徴を考えよう</p> <p>◎なぜこのような配置にしたのだろうか</p>	<p>・教科書 P112 を見てプリントの空欄を埋める</p> <p>・教科書 P112・113 を見てプリントの空欄を埋める</p> <p>→「外様大名が江戸から遠い地域に配置されている」「親藩・譜代大名は江戸から近いところに配置されている」「直轄地の周りには親藩・譜代大名が配置されている」など</p> <p>→「外様大名の幕府への反抗を防ぐため」「外様大名の領地の周りに親藩・譜代大名を配置して、監視させるため」など</p>

	<p>【グループワーク②】</p> <p>◎なぜ参勤交代をおこなったのだろう</p>	<p>→「領地と江戸を一年おきに行き来させることによって反乱を起こす資金を断とうとした」など</p>	
まとめ	<p>(1) 本時の復習</p> <p>(2) 本時のめあてに対する答えを考える</p> <p>(3) 次時の内容の予告</p>	<p>→「軍事、経済、政治の3点を幕府がしっかりコントロールできるような体制を整えたから」</p>	<p>・机を戻し、隣同士で考えさせる</p> <p>・秀吉の兵農分離について触れ、次時では江戸幕府が身分についてどのような政策を行っていたか学習することを予告する</p>

9. 評価の観点

- ・260年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち、意欲的に追究している。(関心・意欲・態度)
- ・「主な大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど、歴史地図を活用している。(技能)

10. ご高評価欄